

最強の働き方 世界中の上司に怒られ凄すぎる部下・同僚に学ぶ77の教訓

ムーギー・キム 東洋経済新報社

“最強の働き方”100 万部突破記念・ビジネス書大賞・文芸書大賞・エンターテイメント大賞と三冠受賞記念パーティでの予定スピーチ原稿の要約～本書誕生のきっかけは一言で私が怒られ過ぎた事です、世界中で一番怒られたのは私だと妙な自信があり、上司から受けた説教や叱責は「働き方」や「生き方」に関して多くのことを学びました、そこで1冊に纏めたら私にとっても、更に多くの人にとっても素晴らしい仕事の教科書になると、本書は“働き方・生き方”の教科書です。

(はじめに)

「頭のIQや学歴」よりも大切な「仕事のIQ」を高めるには～世界中で怒られながら学んだ77ヶ条の教訓、～学歴や経歴が立派な割に何も成し遂げていない人は結構多い、逆に有名大学でもなく・大学を出ていなくても最高水準の仕事をしている一流の人も多く存在、勉強ができるIQと仕事ができるIQは違うコンセプトが明確になった事でこみ上げる興奮を感じたり小躍りした、本書の目的は「自分の選んだ道で最高水準の仕事をする・自分らしい天職を選ぶ」自分が自己実現できる分野を選んで一流の仕事をするために「①基本 ②自己管理 ③心構え ④リーダーシップ ⑤自己実現」の5ヶ条に纏め働き方・生き方の目線を上げる事を目的にしています。

特徴1. 世界標準で仕事をする一流プロフェッショナル達から学んだ教訓を体系化

特徴2. 自分に関係の深いキャリアステージ毎の具体性・現実性が高すぎる部下同僚

特徴3. 誰でも実践できるという「汎用性・実践性の高さ」で具体論にこだわっている

楽しく読めるように読み易さにも徹底してこだわったので本嫌いな人にも読んで欲しい

* 本書の読者層へ～プロフェッショナルの「仕事の基本」を学ぶ新入社員から経営陣・起業家・学生から退職者の方まで広範な対象。部下が上司に望んでいる事・尊敬できる上司の共通点・自分は何が好きで・何が得意なのか自問し「働き方と自己実現」の教科書として愛読していただければ幸いです。

第1章 一流の道は一流の基本から～知りたい秘策より知っている基本の完成度～

この人はいつまでグラスを磨いているんや・一流の店は食器の一つひとつが凄く清潔で店内全て、どんな職業でも一流の仕事とは、つまるところ一流の基本の積み重ね、基本中の基本は ① メモの書き方 ② メモの取り方 ③ 資料づくり ④ 話し方 ⑤ プレゼン ⑥ 整理整頓

1. メールの書き方～できる人ほど、即・リプライ、すぐやる、返事が速い
2. メール文字数をリストラせよ～無駄のない効率的なコミュニケーションにこだわる
文書能力が仕事能力を予測させる、簡潔な文章を書けるだけでかなり出世できる
3. メモの取り方～できる人ほど鉄壁のメモとり魔、一流の仕事は「漏れがない・この人に任せておけば云ったことは正しく理解され漏れなく実行してもらえる」 P 1

という安心感、メモを取らない部下は憎らしい位で仕事全般の姿勢の表れです。

4. 一流のメモは常にピラミッド状～論理的思考能力は万事の細部に現れる、単に書くのではなく整然とした論理構造でメモを仕上げていく事が求められ効率化に貢献
5. “**白板の貴公子**”を目指せ！～一流のビジネスパーソンは白板の使い方が上手い、四方八方からの発言を次々とピラミッド状に且つマトリックス状に纏め上げる鉄壁の法則、白板の達人は“議論の可視化”も上手い、異なる意見を引き出し一つに集約する事が知的リーダーシップの基本。
6. 資料作り～シンプルな 1 枚に要約、全体像を最初に共有する事でどんでん返しは無くなる、どんなに長いプレゼン資料でも最初の 1 頁目に要約があり、その中にも最初の 3 行で更なる要約があり、その 3 行をタイトルの一言が要約しているのだ。
7. 資料作りも神は「細部に宿る」～小さなミスには、大きな羞恥心を感じる責任感が大切で一流の人材は資料作成で小さなミスに対する恥じらいの気持ちが強い、しかし仕上げが速い、完璧な資料と単純ミスの資料の間にはケアレスミスに留まらない途方もなく大きな違いが存在する。
8. 「マッキンゼー本」信奉者に物申す～最後は読み方の好み次第で細部にこだわり“資料の神様”を宿しつつもメッセージの構造を明確に相手の好みとニーズを知り、それに合わせつつ、簡単に 1 枚に纏める事に尽きる。
9. 話し方～声は人格を表す、一流の人は“**一流のトーン**”で話す・話し方が魅力的だ腹式呼吸で空気量タップリな落ち着いた太い声で話す・ボディランゲージも必要だ
10. 相手のニーズ・関心事を傾聴し乍ら会話する～アクティブリスニングは信頼関係の基本「いい会話の一番大切な基本は相手に興味を持つ事」相手のニーズを無視したアピールは単なる独り言、まず相手の関心事を聞き出し信頼関係を構築。
11. プレゼン～「感情を揺さぶる・どうしても伝えたい事」が重要、論点と仮説自体が詰まらなければゴミ箱のゴミ以上の何物でもない。
12. ミニコラム～同じ話の人間国宝を目指す～一流の話し手は自分の話を飽きさせない事だ、一流のビジネスパーソンが凄いのは同じ話をいつ何時に誰に話しても凄まじい情熱を持って話せる事だ、そのコツは前回話したよりもうまく話せるように質を高める事にモチベーションを見出す事だと、一流のプレゼンターは如何なる話であろうと情熱を失うことなく、寧ろテンションのボルテージを上げ乍ら何百回でも何千回でも同じ話を面白おかしく話せるものだ、プレゼンは話し方の才能よりも繰り返しの練習が勝るといのが元気づけられる真理である。
13. 整理整頓～仕事の生産性は机上やカバンの中の散らかり具合にあらわれる～整頓能力は調査能力と生産性の象徴、整理力は一事が万事でその人の仕事の質と生産性の大部分を決定づける、机の上・引き出し・カバンの中・デスクトップ画面もきちんと整理されているといつでも必要な情報を引き出せる、情報のリサーチも早い調査能力も高く、仕事も速くて正確、生産性が全般に高い、

自分や他人・会社・全ての生産性を高める。

14. わざとカオス状態を作り出し自分にしか分からないようにする二流のエリート、一流の人は誰にとっても使いやすいように整理しチーム全体の生産性を上げる。

15. 「二流」IQ よりも愛嬌で仕事の命運が決まる？～学歴や IQ より“**他人との温かい関係をつくる力**”がよほど大切、本書で書かれている様々な一流の心得を実践しても“好機”を運んでくれるのは自分のことを気に入ってくれている・良好な関係を築いている他人に他ならない“**いい人は和をもって貴し**”となし、協調性が非常に高い誰とでも話せる、社内のあちこちに太いパイプを築く「**いいやつだ**」と認識される事は決定的に重要だ。

*ハーバード大学の研究で長年に亘って卒業生その後のキャリアや報酬を追跡した調査では IQ150と IQ100 の卒業生のその後の年収に有意な差はなかった、しかし**廻りと温かい人間関係を築けた人はそうでない人と比べて飛びぬけて出世していた**、これは私の周りを見渡しても大いに頷ける事です。

第2章 一流の自己管理～一流への道は自己管理から～

*IQ や学歴は今さら変えられないが今からでも仕事能力の大きな差は心がけ次第で何とかなるのは自己管理「時間管理」①早起き ②時間厳守 ③優先順位「外見管理」④服装・身だしなみ「健康管理」⑤健康「内面管理」⑥ストレス管理「成長管理」⑦学習習慣 言いにくい真実だが太っているのに出世しているのはマッコ・デラックスのみだ、しかし彼女も服装や化粧品には大変気を使っていると姉が曰く。①から⑤は「決意次第で直せる習慣」で本当に仕事能力を大きく左右する。

16. 時間管理「早起き」鶏が先かグローバルエリートが先か？

～凄く遅く起きてくる偉い人は殆どいない、早起きは「自己規律」の象徴

*必殺「早朝型人間」になる秘訣～早寝・熟睡・早起きの誓い

17. 眠っている時だけでもビル・ゲイツに勝て、ベッドは多少お金をかけても自分に合ったいいものを選ぶ、睡眠の質にこだわり高める。

18. 時間厳守～時間を守らない人とはチームワークは不可能～少し遅刻しても「時間や仕事にだらしない人」という強力なネガティブメッセージを発信する、約束した時間を守る事は他者への敬意の表れで、チームで働く最低限の条件。

19. 優先順位～優先順位付けは楽な事ではなくやるべきことをする、時間配分こそが超一流のプロの基本、最適な配分が勝負の分かれ目。

20. 服装～エリートも馬子も TPO をわきまえた服装の大切さ、自分に合ったいいものを長い間愛用は長期的な人間関係を大切にす一流の人に共通だ。

21. フォーマルなパーティの衣装は一大勝負～パーティでもやたらとテーマを決めて、それに合った服装が求められる情熱と金額も並々ならない。

22. 見栄や周囲の評価に惑わされない～買い物の基準に主体性の有無が現れる。周りがどう思おうが自分の価値観に基づき主体的に決断を下す、

投資も買い物も他人の真似ではなく自分の軸で判断する事が大切。

23. 納得できないお金は1円たりとも払わない? ~一流プロフェッショナルに共通~
仕事ができ、金持ちの人に限ってお金に細かく厳しいのは共通する特徴、使うべき時はスマートに使い、共有すべき時には共有する、という公平さを兼ね備えること
24. 健康~2ヶ月で20kgの減量は当たり前のダイエット~体重管理は「自制心」の象徴、成功している人に百貫デブはいない。
25. 一流の人は頭脳以上に身体で差がつく? ~健康こそ意識モチベーション・思考・行動の基本、姿勢の正しさ、運動は自己規律及び集中力・継続力の表れと共に、仕事の生産性に必要な健康の投資でもある。
26. ストレス管理~大成する人はストレス耐性も強い「心のストレス引当金」を積む事は職場やプライベートで不愉快な出来事に対して貴方がそれを「アツケラカン」とやり過ごすのに大きな役割を果たす、上司からの指示の3割は意味がなく不愉快で腹立たしいもの、とあきらめる。
27. ストレスは翌週に持ち越さない~日常の仕事から離れ自分の関心事項や欲求を満たしてくれる趣味の時間を持つ事は極めて重要だ「自分に合ったストレス解消法」は仕事の生産性を大いに左右する大切な習慣。
28. 一流の出世頭が読むそこらへんの漫画~仕事も人生も「遊び心」が大切、飛びぬけて出世している人に限って意外と羽目を外しまくった自由時間を満喫
29. 学習時間~どれ程忙しくても十分な勉強時間を確保する変化と成長する人になる
30. 他人の土俵でも前頭三枚目を目指す~基礎力と幅広い教養が大切~超一流の人が自分の専門分野以外についても鋭い洞察力を持っている応用力が高い、自分が持っているモノサシだけでしか他人を評価できない人は真の教養人にはなれない
31. 「二流」何時迄も勉強ばかりで行動に移さない「啓発貧乏神」勉強家・評論家・批判家で終わらない、**アイデアより実行力で決まる。**

第3章 一流の心構え~一流と二流の間にあるもの“起業家精神” ①主体的に動く ②先見の明を持つ“目線を高める” ③仕事の質にこだわる ④危機感を持つ ⑤期待を上回る主体性の有無が一流と二流の差。業績を上げているタクシーの運転手さんは「皆が待つタクシー乗り場で絶対にお客さんを待っていない、自分の頭で考え自分で駆け回ってお客さんを見つけてくる」と、そんな仮説を立て、その通りに業績が上がるのが楽しい、とも語っている、こういう主体的に考えている運転手さんは接客マナー・スピード・安全性とすべての面で顧客満足度が高い。一流のリーダーの共通点は誰から見ても自分の役職で世界最高水準の仕事をする事に誰よりも拘っている。

32. 「起業家精神」主体的に動く~やりたい仕事を見つけてやったもの勝ち「面白い仕事は上司が自分でやり絶対に上からは降ってこない・上から降られる仕事は99%面白くない」「やらなければならない仕事は完璧にサッサと終える」

33. 自分でやるべき仕事は自分で考える～どんな仕事をすれば会社にとって良いか考える、苦手か興味のない仕事でどんなに頑張っても成果はたかが知れている。
34. 先見の明を持つ～先回りして長期的利益を優先せよ～プロアクティブな人は何か状況が発生する前に先手を打ち状況を作り出す側に回るのが一流。
35. 石橋を叩いて渡るのが二流のエリート、大きな波が来る前にアーリームーバーとして第一人者となる人だけが優勝する。
36. “目線を高める”仕事の質にこだわる～お土産のコップ選び1つにも徹底してこだわる～仕事の質に拘れる人だけが勝つ拘りのない仕事はするな！
どんな小さな仕事にでも徹底的に拘りぬく姿勢は大きな仕事にも期待ができる。
37. 寿司は哲学にお金を支払う？～10倍の価格差に対して「寿司は拘りで作りたい」という寿司屋さんの哲学に代金を支払っている、と寿司マニアは言い切る。自分が思うところの一流の仕事に関する哲学は何で「哲学的価値をもたらしているか？」を、自問自答する。
38. 危機感を持つ～ライバルを意識し緊張感を忘れない～サムスンに巨大なコングロマリットに育てたイ・ゴン・ヒ会長は絶頂期でも「10年以内に今売れている商品は何も売れなくなる、嫁と子供以外全て変えろ」と危機感とスピード経営で有名「自然界では最強のものが生き残るのではなく変化できるものが生き残る」のが摂理。
39. 「これがラストチャンス」と思って切迫感を持つ、自分を追い込む、IQより集中力の差、緊迫感・切迫感・危機意識を持ってこそ期待される以上の仕事ができる。
40. 期待を上回る～自分がいなくなったら回らない仕事がどれだけあるか？
41. 自分の限界と期待を上回ろうとする姿勢が「勝敗」を決める、自分の限界を超える圧倒的な努力をしているのか？という姿勢を問われている。
42. 会社に「レガシー」を残す～貴方が会社を去っても会社に残るものは何か？
自分がいない事で会社がどう良くなったか？を自問せよ、長い人生の終わりにも当てはまる、後世にレガシーを残すという意味で人生全般に当てはまる。
43. 周囲の反対にもめげず失敗してもかならず再起する人々～他人が無理だと言っても自分を信じる強さ。猪木はその当時誰もが無理だと思っていたモハメドアリとの戦いを実現にこぎつけ親友となった、それが国際的な人脈構築に繋がった。
- 第4章 一流のリーダーシップ～周りから支えられる人はココが違う～個人の頭脳や、スキルの差はたかが知れているが人徳や人脈の差は常に天と地程の差がつく！
「人を大切にする」①誰に対しても丁寧に接する ②信頼を大事にする「部下を伸ばす」③部下を尊重する ④部下に得をさせる「ローモデルになる」⑥規範を背中を示す、自分が一肌脱ぎたくなるのは「自分の面倒を見てくれた」という人
44. 誰に対しても丁寧に接する～タクシーの運転手さんは全てお見通し、職位で相手への対応を変えない。
45. 頭を垂れるから稲穂は実る～謙虚さが一流と二流の分かれ道

46. 信頼を大切にすゝ〜リーダーシップの要は信頼とリスク管理「信頼こそリーダーシップの基本」私が経験した業界で成功している大物は異口同音に「信頼こそ成功の秘訣だ」相手の為になにかをやってあげたいと思うかどうかは基本的に「相手への信頼感が土台だ」信頼を語る上で大切なのは「リスク管理」コンプライアンスの意識の徹底。
47. 悪い情報は先出しせよ〜賢い嘘つきよりも馬鹿正直の方が出世する、人は「騙された」「まだ何か情報を持っている」と感じる時と「この人は失敗したが正直に開示した」と思う時では対応の仕方が 180 度も違ふ、最善の策は速攻で会社に失敗を報告する事。
48. 「信頼の貯蓄」をせよ短期の利益より「長期の信頼へ」〜潜在的に既存顧客の不利益になりかねない事は例え自分の利益になりそうでも我慢お金より信頼の貯蓄
49. 部下を尊重する〜尊重されている事を実感させると優秀な社員が職場に沢山居るようになるので上司の腕の見せ所になり会社の組織力を高め強力なパワー
50. 部下の冠婚葬祭での取り扱いはとりわけ重要〜部下のプライベートを尊重する。
51. 部下に得をさせる〜部下の自己実現を支援し市場価値を上げる「この人の下で働けば数年後には市場で引っ張りだこになる」と思わせるくらいに部下を成長させられるかどうか上司は考えるべき。
52. 金を払ってでも部下に面白い仕事をさせる〜部下の成長の為なら会社の短期的な利益を犠牲にする、経験を積ませるために海外出張に同行させる・会議に参加等でモチベーションを高める。
53. 部下を成長させる〜日陰の重要な仕事に光を当てる・部下を誉め、部下の仕事へのこだわりの箇所を誉める、部下の貢献を社内外に売り込む。
54. 部下を引き締める〜「簡単には誤魔化せない」という緊張感が部下を育てる。小さなミスも見逃さない注意力と緊張感は一流上司の基本。
55. 部下を引き連れて辞められる人が大成する〜自分を成長させてくれた上司の事は一生忘れない〜転職時の給料は「部下と客」が一緒についてくると桁が変わる。
56. 規範を背中を示す〜組織トップこそトイレを掃除すべき、上司の背中を見て育つ。
57. 上が緩めば組織の士気が急低下〜自分が一生懸命であつてこそ周りがついてくる口を出すばかりの上司では部下の士気は下がって当然、社長自ら背中を見せる。
58. 「二流」200 人中 200 人の最低の評価を受けたダメ上司〜某大手多国籍企業で実在のケース、自分では仕事をせず部下に仕事を振るだけ、間もなく会社を去つた四方八方から支えられる人と足を引っ張られる人が闘つたら結果は明らかだ。

第 5 章 一流の自己実現〜自分を知り自分を自由にする〜

* 自己実現への道〜「やりたい事」×「できる事」×「社会から要請される事」

「好きな事をする」①好きな仕事を全部する ②強みを生かす ③使命感を活かす
「周囲を巻き込む」④ビジョンを掲げる ⑤組織を作り込む

「自由に生きる」⑥捨てる勇気を持つ ⑦自由に挑戦する

～以下自己実現している人達の紹介～

59. 好きな仕事を全部する～将来やりたいことは全てやる、5年後にはどうなっていたか、この単純だが極めて基本的な問いかけが自分自身一流の仕事への出発点
60. 「エリート・トラップ」に注意せよ～自分が本当にやりたいことを探すには多くの人にとって大仕事である、**一度しかない人生、自分のやりたいことに向き合う**「自分を知る試み」を忘れないようにする。
61. 「天職から引退無用」ハマれる仕事が人生の機会費用を高める「引退しない人は死なないのです」～有名な巨大投資ファンドの創業経営者の教訓(生物学的な反論がいくつかあるのは承知した上で) 大金持ちでつまらない人は多いが好きな事を熱狂的にやっている人でつまらない人はほぼいない。
62. 強みを生かす～勝てる分野で勝負する、好きでも向いていない事に人生を賭けない、人の弱みは治らないし、治ってもその分野で強い人には勝てない。
63. 「ハマる仕事」で人生は変わる～無気力ニートが確定申告する迄～私の幼馴染で京大一家に生まれ父も兄も京大卒、彼も京大に滑り込んだが人生に全く執着がなく長年の浪人と留學生活の果て最初の仕事は市役所のゴミ収集バイト、その後も転々そんな彼が30歳にしてトレーディングに熱中・元来のゲーム好き、お金の執着がなく浪費もせず会社を代表するトレーダーの一人に成長、ここ3年安定的に確定申告する身分になった、自分がハマることが出来、充実した「天職」を持った。
64. 使命感を生かす～「存在意義」をかけて働く～自分が働く理由を納得している人は最後までやり抜く力が強い、自己実現できるキャリアを持つための重要な基本。
65. 原体験を忘れない～自分の価値観・問題意識の原点を見つめる頑張るキッカケの自分の原点を忘れない人は、揺るぎのない信念で、その志を形に変えていく。
66. 解雇されたプロ野球選手に学ぶこと～天職でなくても尊い仕事「なんの為に働いているのか」という目的が仕事の内容以上に重要な事もある、毎年特集番組で組まれている「戦力外通告されたプロ野球選手」その後のドキュメンタリーは自分の適性や志向に関係なく家族を養うために第二の人生に打ち込む姿の尊さを教えてくれる、先ず責任を果たしたのちに転職うんぬんを云うべき。
67. ビジョンを掲げる「高い目線と志」に人・カネ・社会がついてくる「**この問題を解決したい**」「**こんな社会を作りたい**」という強烈な原体験や、そこから来る「社会的使命感」がなければ人もお金もついてこない。
68. 一流の会社を目指すから一流の人材が集まる「素晴らしい人を集めて走る方向を一緒に決める」「インスピレーション溢れる大きなビジョンを掲げられるかどうかで集まる人材の質は変わってくる」
69. 組織を作り込む～自分がいなくても回る組織を作る～自分より優秀な人材を集め、人を巻き込める・気持ちよく働ける動機付けをする、どんなに優秀でも

一人でできる事は限られている、ビジョンを共有し後は任せる。

70. 仕事相手に得をさせ相手に気持ち良く働いてもらう人だけが大成する。

71. 自由に生きる～捨てる勇気を持つ～仕事よりも大切な事を知る出家するエリート、
駆け落ちするエリート

72. 「金の手錠を外す」～5年で死ぬなら何をするか時間が限られていると深い認識

73. 仏さまとイグアドン(化石)の教え～①人は希望で生きる存在だ多くの人にとって
何よりつらいのはお金が無くなる事ではなく希望が無くなる事だ ②仕事も人生も何
かを欲する限り悩みは尽きないものと受け入れる ③1億3千年前の太古の化石
を買って私達の人生は悠久の時のながれのなかでは一瞬だと、その一瞬の花火を
少なくとも美しく力強く輝かせたいと思った。

74. 自由に挑戦する～今挑戦しない人はズーと挑戦しない「自己実現への意欲」が
強い人は総じて「快適な領域」から飛び出る勇気を持っている。

75. 何歳になっても青春はある～引退しても挑戦を続ける人々、一流プロレスラーとし
て名を馳せた小橋建太氏は「何歳になっても青春は過ごせる」と。

元外交官で60歳退官後に史上最高齢の医師国家試験合格者になった人がいる。

76. 自分を自由にする～世間体に惑わされず自分に正直に～小学生の時からズーと
「世界中の旅行者を楽しませる事」と28歳の友人は魚の美味しい和食屋を開いた。

* 人生は“自己満足” 劇場～他人の期待より自分らしい人生「人生は自分にとって
何が大切で何が幸せなのかに気付いたもの勝ち」

77. 二流の私は一流の皆さんを繋げて生きています。

* 私が読者の皆様と一緒にしたい事

○一番有難いのは「この優秀な会社に後継者がいないから信頼できる投資ファンドに
売却して事業承継をお願いしたい、ガバナンスの強化と成長を支援して欲しい」

又は「この優秀な子会社」を切り離して独立企業として一本立ちさせたいも OK だ

○同じように有難いのは本書特設サイト (www.moogwi.com) にアクセスして簡単な
アンケートにご協力いただければ幸いです。

○そして私が本書を契機に成し遂げたいのが本書をお読みの皆さん同士でいろいろ
面白く、やり甲斐のある仕事をするパラレルキャリア・プラットフォーム作りだ！

私は長年、世界的なファンドやコンサル、金融、多国籍企業、法曹界等で働く友人と
様々な「面白いプロジェクト」を持ち歩いていろいろ趣味で行ってきた、そこで驚い
たのは各自が本業で培ったスキルや人脈を「自分がやりたい×できる×社会に必
要とされている」という「自己実現プロジェクト」ベースで集めてプロジェクトを走ら
せると皆、見違えるほど楽しそうに熱心に働くという事だ。

* **仕事の常識は今後大きく変わっていく**、今後は個々人が培ったスキルや知見・世界
中の人脈をネットワークに繋げてチームを作り、本書をお読みいただいている皆さん
と立ち上げる事ができる機会が訪れる日を楽しみにしています。 (完)